

東北大学・仙台市科学館は、2011年東北地方太平洋沖地震により発生した津波で被災した博物館施設等の標本や展示物をレスキューする事業に協力しています。

第2報

東北大学総合学術博物館のすべてXII 文化財レスキュー ～復興ギョリュウ館展～

南三陸町は世界最古のウタツギョリュウ、クダノハマギョリュウの化石産地として世界的に有名です。クダノハマギョリュウ化石を現地の海岸で、そのまま展示していた「魚竜館」がありましたが、今回の震災で壊滅的な被害を受けました。東北大学総合学術博物館がレスキューし、再び標本として修復した魚竜館の貴重な標本を展示し、自然史標本、自然史系博物館施設、文化財レスキューの意義について皆様と一緒に考えて行きたいと思います。今回は、福井県立恐竜博物館から恐竜も応援にかけてくれます。



震災前の魚竜館

会期;平成24年2月7日(火)～3月25日(日)
会場;仙台市科学館3F エントランスホール

※恐竜の組み立て作業は予定された時間前に終了してしまいました。見学に間に合わなかった皆様におわび申し上げます。

緊急速報

フクイラプトルがやってきた!!

魚竜館展に先立って、1月29日(日)フクイラプトルの復元骨格標本がやってきました。現在3F エントランスホールで展示しています。



組立作業には福井県立恐竜博物館特別館長の東洋一先生に携わっていただきました。